

ご一緒に、いい人生



証券コード：4681

第52期 中間期 株主通信 Vol.52

2024年4月1日～2024年9月30日

INVESTORS' REPORT
April 2024 - September 2024
RESORTTRUST

TO OUR SHAREHOLDERS

株主の皆様へ



CEO 伊藤 勝康



COO 伏見 有貴

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、当社グループへの日頃のご支援に心より御礼申し上げます。このほど当社第52期中間期が終了いたしましたので、営業の概況と決算の状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも引き続き皆様のご支援ご鞭撻を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

2024年12月

代表取締役会長 CEO（最高経営責任者）伊藤 勝康

代表取締役社長 COO（最高執行責任者）伏見 有貴

TOP INTERVIEW

トップインタビュー

会員権販売がさらに伸長。
過去最高の業績で、中期経営計画の業績目標を1年前倒しで達成へ。

ホテル会員権の契約高は 前年比27%増の555億円に

—— 当中間期の事業環境と業績についてお聞かせください。

国内景気が緩やかに回復しつつある中、当社グループではホテル・メディカルの会員権販売の好調が継続しております。上期の会員権契約高は4期連続で過去最高を更新し、利益率も、価格改定効果や既存物件の販売増などによって大幅に上昇しました。これらの結果、当中間期の売上高は前年同期比20.5%増、

営業利益は同47.0%増と大きく伸び、いずれも過去最高となりました。経常利益及び純利益も、前年同期から2桁の増加となりました。

会員権事業では、2022年3月に販売を開始した「サンクチュアリコート琵琶湖」や同年10月発売の「サンクチュアリコート日光」の会員権販売が好調に推移したほか、既存物件の販売も増加しました。さらに、2024年4月に一部会員権の価格改定を実施したこと、2024年8月には「サンクチュアリコートハヶ岳」を予定より早く発売できたこともあり、ホテル会員権の契約高は555億

TOP INTERVIEW

トップインタビュー

円と、上期として過去最高だった前年実績を27%上回りました。これらの結果、当事業セグメントの売上高は前年同期比67.5%増、営業利益は同121.7%増の大幅な増収増益となりました。

ホテルレストラン等事業では、繁忙日における台風による稼働への影響はあったものの、各ホテルの稼働率は概ね前年と同水準か、前年対比で上昇を継続し、2024年3月の「サンクチュアリコート高山」開業も増収に貢献しました。人財への積極投資を続けている影響もあり、当事業は増収減益となりました。メディカル事業は、8月から「ハイメディック大阪中之島コース」が検診業務を開始したほか、引き続き年会費収入が順調に増加したことなどから、増収増益となりました。

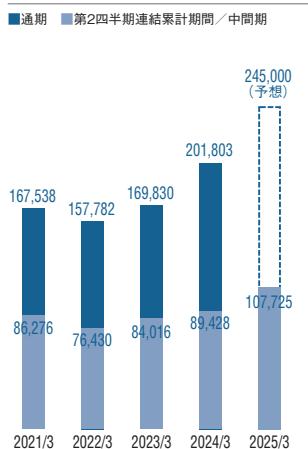
会員権事業が牽引し、 通期見通しも大幅に上方修正

—— 通期の業績見直しについてお聞かせください。

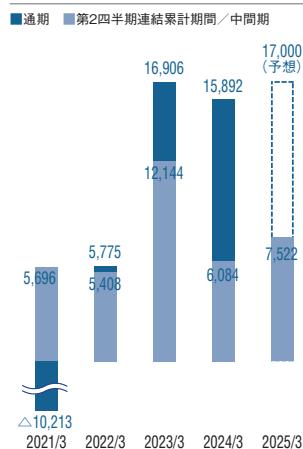
下期も引き続き安定した需要が期待できることから、通期の業績につきましても、大幅に上方修正させていただきました。連結売上高は前期比21.4%増の2,450億円、連結営業利益は同18.4%増の250億円と予想しており、経常利益及び純利益とともに過去最高を更新する見込みです。

会員権事業では、2024年10月の「サンクチュアリコート琵琶湖」開業に伴い、繰り延べられていた不動産収益が一括計上されるこ

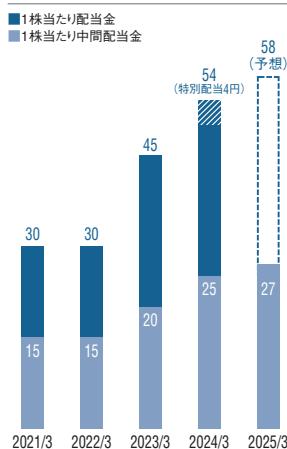
売上高(百万円)



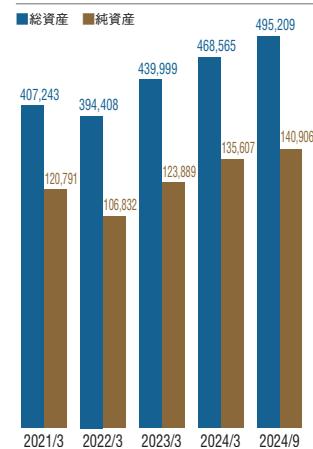
当期純利益(百万円)



1株当たり配当金(円)



総資産(百万円) / 純資産(百万円)



※ 予想に関する数値は、2025年3月期第2四半期決算発表日時点の見直しに基づくものです。経済環境の変化などにより、実際の業績が予想と異なる可能性があります。

TOP INTERVIEW

トップインタビュー

とで、収益が大幅に拡大する見通しです。上期に続いて会員権販売の好調が継続するとみており、第4四半期には新たな会員権の発売を予定しております。上期は減益となったホテルレストラン等事業も、下期は会員数の増加や単価の上昇などによって増益を見込みます。メディカル事業では、10月に「ハイメディック・ミッドタウン・イーストコース」の検診を開始いたしました。当施設は当社グループで初めて、アルツハイマー型認知症の兆候などを調べることができる頭部PET検査を実施しています。当事業でも引き続き、安定した収益の拡大を見込んでおります。

メディカル事業の海外展開に向け 三菱商事と提携

—— 中長期の成長戦略についてお聞かせください。

当社は2023年度から、5年間の中期経営計画「Sustainable Connect」に取り組んでおります。当計画では2028年3月期までに年平均10%以上の営業利益成長率を確保するなどの目標を掲げ、当初の業績目標としては3年目となる2025年度に売上高2,300億円、営業利益230億円を達成することなどを掲げております。今回、当期の通期業績予想を上方修正した結果、2年目となる当期において3年目の目標を前倒しで達成する見込みとなりました。新たな業績目標につきましては、本決算発表時に公表させていただきます。

今後の開発スケジュールにつきましては、ホテルに関しては、先ほどご紹介した通り第4四半期に新たな物件の発売を予定しているほか、今後も年間1~1.5施設のペースで開発を継続してまいります。「グランドハイメディック倶楽部」では、2025年度開業

予定の横浜の物件に続く新規拠点を関東と関西でそれぞれ検討しており、シニアレジデンスは2025年度に3施設の着工を予定、いずれも2028年ごろの開業を見込んでおります。

このほか新たな動きとして、メディカル事業の海外展開に向けて、三菱商事株式会社との合弁会社を今年度中に設立することを予定しています。アジア圏を中心に、当社グループが培ってきた検診・医療に関する事業モデルを、海外やインバウンド向けにも展開してまいります。

—— 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

期末配当金につきましては、通期業績予想を上方修正したことに伴い、従来予想の1株当たり27円から4円増額して31円とさせていただきます。年間配当金は過去最高の58円となる見通しです。前期の年間配当金は創立50周年の記念配当4円を含めて54円でしたので、当期は実質的には8円増配となる見込みです。

2021年度以降に新たな増加ステージに入ったホテル会員権の販売が非常に好調で、「Sustainable Connect」は当初計画をはるかに上回るペースで進捗しております。今後も収益のいっそうの拡大に努めるとともに、人材への投資や資本効率の改善、社会や環境への貢献など、持続可能な成長に向けた取り組みにもさらに注力してまいります。

今後とも引き続き皆様のご支援ご鞭撻を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長 COO 伏見 有貴

REVIEW OF OPERATIONS

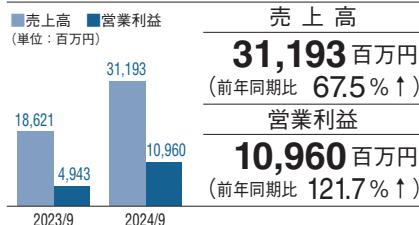
セグメント別概況

会員権事業

Membership Operations



独自のコンセプトと多彩なロケーションで展開する高級会員制リゾートホテルの開発と、それらの会員権販売などを行っております。



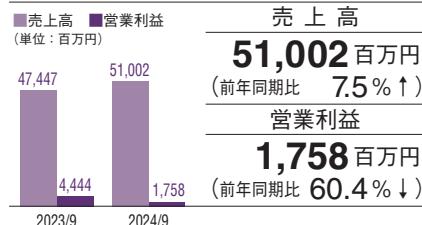
会員権事業におきましては、2022年3月から販売を開始した「サンクチュアリコート琵琶湖」、2022年10月から販売を開始した「サンクチュアリコート日光」の会員権販売がそれぞれ好調に推移したこと、既存ホテル会員権の販売割合が増えて利益率が高まったことに加え、2024年8月には「サンクチュアリコート八ヶ岳」を予定よりも早期に販売開始できたことなどにより、増収増益となりました。

ホテルレストラン等事業

Hotel & Restaurant Operations



本物志向の設備、料理、サービスを核とするホテル・レストラン運営、会員制ゴルフ場の運営などを行っております。



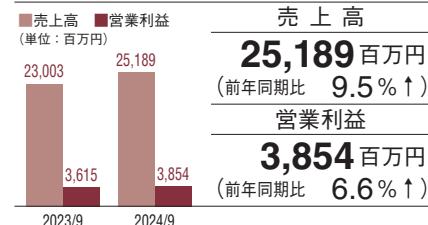
ホテルレストラン等事業におきましては、2024年3月に「サンクチュアリコート高山」が開業し、増収に貢献しましたが、台風等の影響で各ホテルの稼働率は伸び悩みました。コスト面では、昨年に引き続き、ベースアップや人事施策の実行、今後のホテル開業に備えた人材採用と育成への投資に加え、ホテルのメンテナンス費用を前倒して実施していることなどにより、増収減益となりました。

メディカル事業

Medical Operations



最先端で高品質な健康関連サービスを提供する総合メディカル事業及び有料老人ホーム等の運営を行っております。



メディカル事業におきましては、健診施設の一部を新しいビルへ移転する費用など一時的なコストが発生しましたが、新たな健診施設を追加し拡大したほか、2024年8月から大阪・中之島を検診拠点とする「ハイメディック大阪中之島コース」の検診を開始しました。また、昨年に引き続き、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員権募集が好調に推移し、会員の増加に伴う年会費収入等が増加したことなどにより、増収増益となりました。

本社費(全社費用)

Overhead expenses



SPECIAL SECTION

特集



EXTERIOR



GATE

2024年10月29日
New Open

サンクチュアリコート琵琶湖

VENETIAN MODERN RESORT

サンクチュアリコート琵琶湖 ベネチアンモダンリゾートが10月29日にオープンしました。琵琶湖の湖西エリアに位置し、館内のいたる所から、古の人々に淡海とも呼ばれた壮大な湖面をのぞむことができます。広々とした空のもと、湖とひとつになる開放感とともに、別世界のレイクビューリゾートでの滞在をお楽しみいただけます。



ROOM

Location & Access

お車でお越しの方

- ▶名神高速道路「京都東」ICより約50分
- ▶北陸自動車道「木之本」ICより約50分

電車でお越しの方

- ▶JR湖西線「近江高島」駅よりタクシーで約8分
- ▶JR湖西線「安曇川」駅よりタクシーで約10分

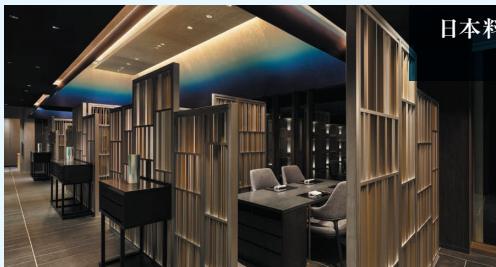


SPECIAL SECTION

特集

サンクチュアリコート琵琶湖

レストランのご紹介 料理長の想いを込めたメニューで地元食材を堪能する



日本料理レストラン
時宜



日本料理レストラン
鉄板焼



イタリア料理レストラン
RISTORANTE OZIO



中国料理レストラン
眺遊楼

SPA & WELLNESS 美と健康をサポートする多彩なプログラムをご用意

ホテルに滞在することで「自身の健康状態を知ること、改善ができるリゾート」を目指し、ウェルネスプログラムが充実していることも、当リゾートの特長です。3Dボディスキャナーでご自身の姿勢を測定し、体の歪みを個別カウンセリングでチェック後、お一人おひとりの状態とニーズに合わせたトレーニング、スパトリートメントを組み合わせたスペシャルプログラムなどを提案。館内・館外の活動を通じて、滞在中のお客様の「健康」と「美」をサポートします。

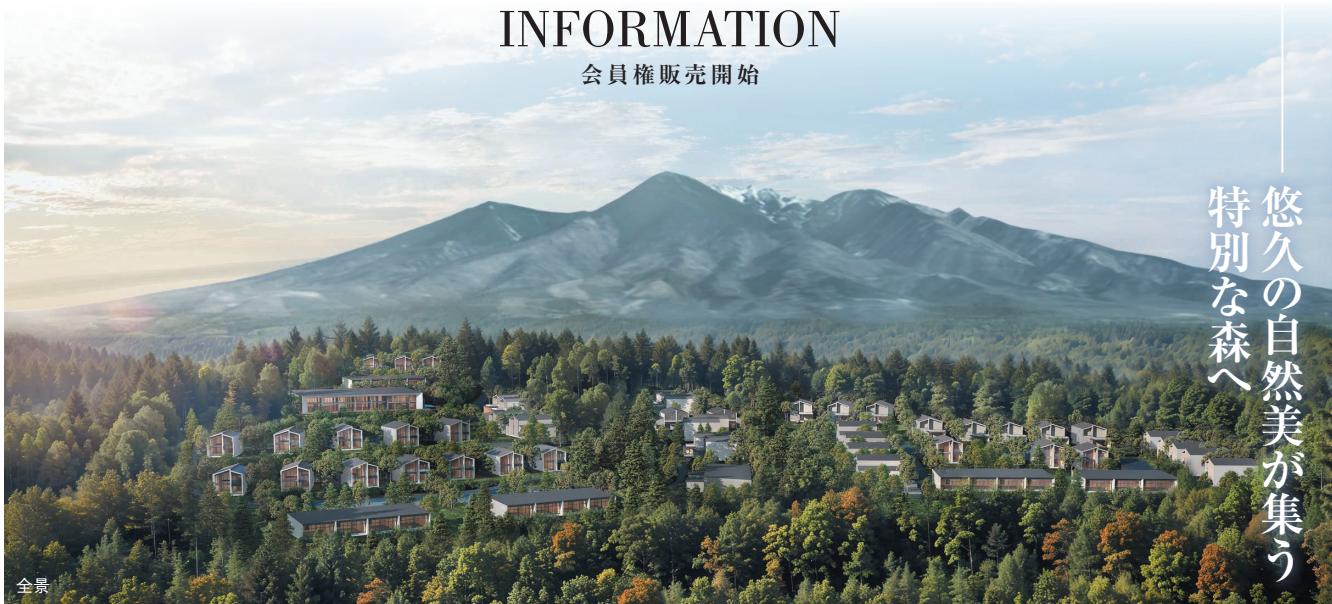


(左) スパ インドアプール
(中) スパ 露天風呂
(右) スパ 内風呂

INFORMATION

会員権販売開始

悠久の自然美が集う
特別な森へ



全景

サンクチュアリコート八ヶ岳 レジデンシャルリゾート RESIDENTIAL RESORT

八ヶ岳の開放感と温もりに浸るような寛ぎをお届けします。

新たに誕生する会員制リゾートホテル『サンクチュアリコート八ヶ岳 レジデンシャルリゾート』は、八ヶ岳連峰と南アルプス山脈を仰ぐ雄大な立地を生かし、アカマツの森に囲まれた自然の聖域に誕生します。客室は、当社では初となる独立レジデンス型を採用。各客室には宿泊者専用のガレージを用意し、ゲストは滞在する客室に自家用車で直接アクセスでき、よりプライベートを重視したリゾート空間となっています。



リビング



外観



メイン棟外観

Location & Access

お車でお越しの方

▶中央自動車道「小淵沢」J.C.より
約3分(約2.1km)

電車でお越しの方

▶JR中央本線「小淵沢」駅より
タクシーで約6分(約3.6km)



TOPICS

トピックス

メディカル事業

「グランドハイメディック倶楽部の高精度検診30年の実績を総結集した新たな検診コース」「ハイメディック大阪中之島コース」「ハイメディック・ミッドタウン・イーストコース」を開始

新たな検診コースでは、心身・社会的に健やかな状態を意味する“ウェルビーイング”を重視。これまでご提供してきた重篤な疾患の早期発見と早期治療（二次予防）だけでなく、新たに健康増進・生活習慣の改善・疾病予防（一次予防）にも取り組みます。また、新たに、介護を必要としない体づくりのための会員様参加型プログラムも提供します。



ハイメディッククリニック中之島 エントランス



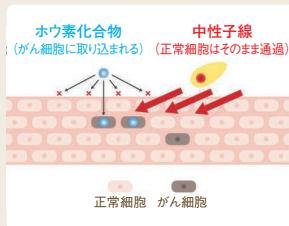
ミッドタウンクリニックイースト 受付

BNCT(ホウ素中性子捕捉療法)事業の進展

株式会社CICS（リゾートトラスト株式会社の連結子会社）では、研究機関・病院・企業とパートナー契約を結び、BNCTの臨床試験（治験）や臨床研究を進めています。

BNCTの特定臨床研究に関する契約を江戸川病院と締結

社会福祉法人仁生社 江戸川病院で行われているBNCTの臨床研究では、皮膚表面から6cm以内に悪性腫瘍があり、「FDG」の取り込みが認められる腫瘍である患者様を対象としています。今回の研究では、「FDG-PET」検査で、がん細胞がブドウ糖に似た「FDG」をどのくらい取り込むかを調べ、取り込む腫瘍に対してBNCTの安全性と有効性を評価します。CICSは、BNCT用中性子照射装置に関する技術を提供し、本研究に協力します。



BNCTの仕組み

国立研究開発法人国立がん研究センター、住友重機械工業株式会社、ならびにステラファーマ株式会社とBNCTの治験に係る契約を締結

今回の治験では、世界初の複数のがん腫を対象とした治験を行います。CICSの装置で中性子を照射し、ステラファーマの薬剤を用いて治療の安全性と効果を調べます。また、住友重機械工業の装置で作られた薬剤「FBPA」を使用した「FBPA-PET」検査によるBNCT施行の適否判定の有用性を評価します。この治験は、国立がん研究センターにおいて、通常の治療が難しい再発した胸部のがん患者様を対象に行われます。

リゾートトラストグループが運営支援する一般検診施設が14施設に 北海道に初拠点が誕生

リゾートトラスト株式会社の連結子会社である株式会社進興メディカルサポートは、8月1日より札幌フジクリニックの運営支援を開始しました。同クリニックには、1985年の開設以来、人間ドックをはじめ企業健診や住民健診事業の豊富な実績があります。今回の新規事業展開により、グループの一般健診施設は14施設となり、年間受診者数は約60万人に達する見込みです。

TOPICS

トピックス

サステナビリティ経営の推進

第4回サステナビリティ委員会の開催

サステナビリティ委員会は、経営層と推進メンバーが一堂に会し、リゾートトラストグループのサステナビリティ推進活動の現在地を確認し、これからの課題や方向性を話し合う場として、年に一回以上開催しています。2024年7月4日に開かれた委員会では、当グループのマテリアリティKPIの実績確認と今後の取り組み、そして、TNFD開示を起点としたリゾートトラストグループらしいサステナビリティの追求について議論を交わしました。

【マテリアリティに関する主な議論内容】

- ▶ CO₂削減：2050年のカーボンニュートラル達成に向けた新たな技術導入などの対策
- ▶ 廃棄プラスチックの低減：アメニティの素材変更による低減効果を確認
- ▶ 食品リサイクルの強化：食品残渣由来の堆肥で育てた農産物を再び使うという循環型モデル構築
- ▶ 人的資本経営：女性活躍の現状課題と取り組み
働きがい・働きやすさを実現する職場環境づくり

兵庫県産苺「あまクイーン」の規格外品を活用した新スイーツの提供を開始

兵庫県内のリゾートホテルやゴルフ場で、兵庫県産ブランド苺「あまクイーン」の規格外品を活用した新スイーツの提供を始めています。味は規格品と変わらないものの、形や大きさを理由に市場で販売されない規格外苺の有効活用が課題となりました。兵庫県・地域生産者と連携し、スイーツとして商品化することで食品ロスの低減と地域活性化に貢献します。



苺のソルベ / レアチーズ(芦屋ベイコート倶楽部)
(苺ジャムの製作は、当社の専務取締役グランシェフ内山敏彦が担当)

※芦屋ベイコート倶楽部での提供期間は終了しております。
その他の提供施設の詳細は、プレスリリースをご覧ください。

URL : <https://www.resorttrust.co.jp/ps/qn3x/guest/news/dldata.cgi?CCODE=1&NCODE=224>

TNFD提言に基づく情報開示を実施

リゾートトラスト株式会社は、2023年9月に公表された自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）の開示提言に準拠した情報開示を2024年6月18日に行いました。

続いて2024年11月には「ネイチャーポジティブ宣言」を策定し、グループの取組方針としています。今後はより一層、自然との共生・共栄を意識した事業運営に取り組みます。

URL :

https://www.resorttrust.co.jp/sustainability/_assets/pdf/environment/biodiversity/resorttrust_tnfd.pdf



「名古屋ダイヤモンドドルフィンズ」とトップオフィシャルパートナー契約を締結

「名古屋ダイヤモンドドルフィンズ」は、国内男子プロバスケットボールB.LEAGUEに所属しています。同チームは、地域貢献を掲げ、ユース育成や社会貢献活動「ドルフィンズスマイル」でSDGsにも貢献しています。リゾートトラストは、2024-2026シーズンにおけるチームへの支援を通じて、スポーツ振興や地域・社会貢献をともに推進していきます。



© NAGOYAD

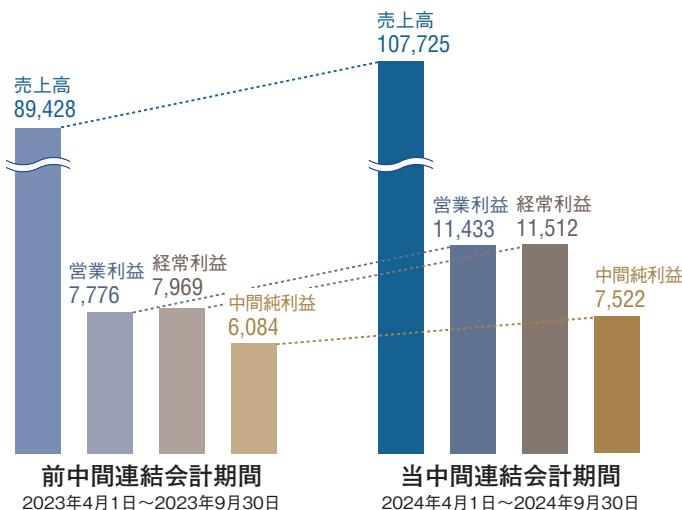


CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結財務諸表

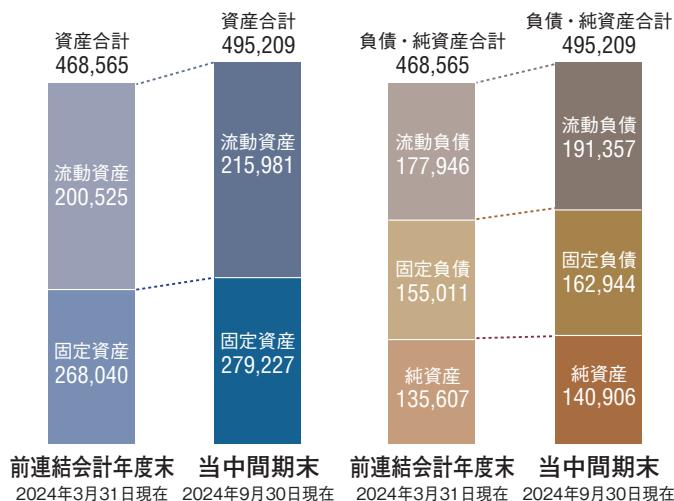
収益の状況

単位：百万円



財務の状況

単位：百万円



キャッシュ・フローの状況

単位：百万円

	前中間連結会計期間 2023年4月1日から 2023年9月30日まで	当中間連結会計期間 2024年4月1日から 2024年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,929	10,768
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,837	△11,825
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,280	△1,142
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	117
現金及び現金同等物の増減額	△2,173	△2,081
現金及び現金同等物の期首残高	28,926	32,260
現金及び現金同等物の中間期末残高	26,752	30,179

連結決算の概要

損益

会員権事業において、再販商品を含むペイコートシリーズなど既存ホテル会員権販売や琵琶湖、日光などのサンクチュアリコートシリーズに加え、2024年8月にはシリーズ第4弾となる「サンクチュアリコートハケ岳」を発売開始したことで、前年を上回る契約実績であったこと、メディカル事業において、メディカル会員権の販売が前年を上回り、引き続き好調に推移したことなどから増収増益となりました。

財務

当中間連結会計期間末の総資産は495,209百万円（前連結会計年度比5.7%の増加）となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、ホテル開発に伴い、仕掛販売用不動産が13,823百万円増加したことなどによるものであります。

各種情報のご案内

各種情報に関しましては、以下のURLをご覧ください。

会社概要

<https://www.resorttrust.co.jp/corporate/about/outline/>

会社概要

会社名 リゾートトラスト株式会社

〒460-0480 名古屋市中区東区2-18-31
Tel. (03) 933-6000 (大株)
所在地

代表者 代表取締役ファウンダー 伊藤 良樹 グループCEO (グループ最高経営責任者)
代表取締役会長 伊藤 良樹 CEO (最高経営責任者)
代表取締役社長 伏見 有貴 COO (最高執行責任者)

創業 1973年4月

資本金 195億90百万円 (2024年3月末)

従業員数 8,404名 (2024年3月末 連結)

本社との示、支社4カ所
リゾートホテル・シティホテル等 国内42カ所、ハワイ1カ所
ゴルフ場13カ所
メディア・広告・不動産

役員一覧

https://www.resorttrust.co.jp/corporate/about/board_member/

役員一覧

役職	名前	職務担当
代表取締役ファウンダー	伊藤 良樹	グループCEO(グループ最高経営責任者)
代表取締役会長	伊藤 良樹	CEO(最高経営責任者)
代表取締役社長	伏見 有貴	COO(最高執行責任者)
取締役副社長	新谷 敬之	会員制本部 本部長
常務取締役	井内 亮文	施設部門 管理 兼 COO(コンプライアンス 経営責任者)

株式基本情報

<https://www.resorttrust.co.jp/ir/stock/information/index.html>

株式基本情報

2024年9月30日現在

項目	内容
証券コード	4881
業種	サービス業
決算期	3月31日
発行済株式総数	150,000,000株
株主数	38,200名
上場場所	東証プライム市場、名証プレミアム市場
上市年月日	2000年11月27日
発行単位	100株
発行済株式総数	108,520,799株

グループ会社一覧

<https://www.resorttrust.co.jp/corporate/about/group/>

グループ会社

ホテル関連

RESORTTRUST HAWAII, LLC ホテルの経営
代表者：荻野 重利
リゾートトラストの運営する施設 (エクスタブ・サンメンバーズなど) および特等施設の総合運営・設備管理

(株) ジェス 代表者：荻野 重利
TEL: 052-310-0794
URL: <http://rttg-jms.jp/>

(株) コンプレックス・ビス・インターナショナル 代表者：荻野 重利
TEL: 052-310-2450
URL: <http://www.complex-biz.com/>

(株) サンホテルエージェンツ 損害保険代理店
代表者：平松 栄治
TEL: 052-310-0798

株主優待

<https://www.resorttrust.co.jp/ir/stock/benefit/>

株主優待情報

基本的な優待制度

長期保有株主優待優待制度 (2016.3月末日より導入)

100株以上の株主様に対し「株主優待電子チケット (2024.3株主様より)」を発行いたします
※電子チケットは、「RTTGアプリ」にて発行予定です
※内容詳細は、2024年6月26日に株主様へ株式計算書類とともに郵送しています。
※ご不明な点については、FAQをご参照ください

統合報告書2024 発行のお知らせ

本報告書は、株主・投資家をはじめとする幅広いステークホルダーの皆様を対象に、リゾートトラストグループの価値創造プロセスや財務・非財務情報を統合的に用いて、経営理念やグループアイデンティティに基づいた当社グループの中長期的な企業価値向上に繋がる取り組みをご理解いただくことを目指し、作成しております。

「統合報告書 2024」では、当社グループの価値創造戦略を中心に、人的資本経営に向けた取り組みや、デジタル化の推進、

TNFD提言に基づく情報開示、コーポレート・ガバナンスの強化に向けた社外取締役×取締役 座談会の内容などを掲載し、各種コンテンツの充実を図りました。

今後も当社グループは、ステークホルダーの皆様とのより良い対話に向けて、情報開示の充実に努め、企業価値の持続的な向上に取り組んでまいります。

URL : https://www.resorttrust.co.jp/ir/library/investors_guide/

